

市町村合併

経過報告⑩

2 町村による法定合併協議会設置の議会提案を見送り

当別町長は、2月17日に月形町長から正式に当別町と新篠津村の法定合併協議会（以下「協議会」という。）に参加したい」との申し入れを受けたことから、23日と3月1日に新篠津村長と協議会設置に関する協議を行い、次の理由により、2月2日に合意した2町村による協議会設置を優先させてほしいことを説明しました。

- ① 合併特例法の期限まで、1年余りとなり、事務事業一元化の協議をはじめ、早急に協議会を設置する必要がある。
- ② 3月議会までに、2町村から3町村へと協議会設置の提案内容の変更について、町民に対して説明する時間があまりにも少ない。
- ③ 月形町民が当別町と新篠津村との合併について、合意が得られているのか不明である。

しかし、新篠津村長は、「村民が3町村による協議会の設置を望んでおり、3月定例議会に2町村だけの協議会設置の議案を提案しない」とのことでありました。当別町としても3月定例議会へ2

町村の協議会設置に係る提案を見送らざるを得ませんでした。

当別町では町民の皆さまへ、月形町の再度の参加と協議会の設置をはじめ今後の進め方を説明するため、3月から、各町内会の総会に合わせ懇談をスタートさせました。

新篠津村長より、突然、合併協議を白紙に戻す旨の説明

3月19日、新篠津村長が来庁され、「これまでの合併協議を白紙に戻したい。新篠津村は、合併しないのではなく、3町村の枠組も含めて、再度、合併問題を考えていきたい」と説明があり、理由として村民から、次のような意見があるのとこのことでした。

- ① 町村規模の問題が大きく、対等とはいえず当別に呑み込まれてしまう。
- ② 合併については、もっと時間をかけて論議してもよい。

当別町長は、月形町の再参加など3町村での合併に向けた町民説明を実施している時に、合併協議を白紙に戻すことについては、2町村長だけで決められる問題ではないとし、早急に3町村長会議を開き、協議する必要があると提起し、3月26日に3町村長会議を開催することとしました。

この会議内容は、町ホームページと来月号で詳しくお知らせします。

お答えします「町長への手紙」

私の意見・私のアイデア

質問 六軒町から小学校までの間、歩道がなくて子どもの通学がとても危険です。いつになったら歩道ができるのですか？

いまだに下水道も来ていません。どうして同じ町でこんなに差があるのですか？人口が2万もいるのに、平均的な整備はできないのですか？

お答えします 町では、道路・水道・下水道など住民生活に必要な整備については計画的に進めています。ご質問の文面からは場所の特定ができず、町の道路整備計画や下水道処理区域であるかの確認をすることができませんが、これらの整備には多額の費用が掛かり、短期間には難しいことから町では、優先度を見極め年次計画に基づいて整備を行っているところで

質問 以前役場にあった苦情箱はなぜなくなったのですか？

再度設置をして住民の意見・苦情などを入れられるようにして欲しいのですが。

お答えします 以前役場などに設置していたものは、苦情のための箱ではなく広聴箱というものです。これは、現在行っている『町長への手紙』と同じ趣旨で、町政への提言、提案、意見などを投函するためのものであり、決して苦情箱的な役割で設置していたものではないことをご理解ください。

また、町内の限られた施設に広聴箱を設置するだけでは、事情があって直接来れない人など、アイデアや意見が広く聞けないので、手紙形式の用紙を広報誌に折り込むことで、多くの方の考えをお寄せいただいています。

質問 役場前の踏み切りは、遮断機が長時間降りていて交通渋滞の原因を作っている。なんとかありませんか？

お答えします 役場の東側の踏み切りは、小学校から虹の橋を渡る北栄通と商店街方面からの本通がぶつかり、特に駅からの列車発車時には、待機時間が長く車の渋滞がたびたび見受けられます。

駅付近の踏み切りは列車発車時の安全確保が重要であること、また単線のため列車を別のホームに移す切り替え作業が必要なことなど、他の踏み切りより多くの時間を必要とすることをご理解願います。

町長の日記

16年3月19日(金)

3月8日から2週間続いた定例議会は昨年より財源が少ない予算案だったが良く理解され全員一致で議決いただき新しい助役の人事案件も決まりホッとしたのもつかの間、突然午後から新篠津の加賀谷村長と東出議長が来庁された。何ごとかと思ったら「合併は白紙にしたい」との申し出であった。理由は「大きい当別に新篠津のみ込まれてしまいそうなので、もっとじっくり考えたい」との事である。

私の方は月形を再び入れる為に各町内会毎に説明をしている最中なので大変おどろいた。

昨年七月に当別、月形、新篠津で合併の協議を始めて間もなく月形が抜けたが今年になって又、入りたいと申し込まれたので二ヶ月の余裕をもらってその準備をしていた矢先に今度は新篠津が白紙にしたいと云う。

私は町長に当選した頃、合併は念頭になかったが間もなく、町村合併を検討しないのはいけないと考えて準備にかかり、昨年夏から三町村で協議してきたが「町長は少し弱腰でないか」と云われても当別町は大きいのだから控えなければと思って、対応していたつもりだった。

職員も一枚岩だったし、議会も良く相談に乗ってくれたからこの件では当別町としては足並みは揃っていたと思うだけに本当に割り切れない思いだ。

新聞が当別町長が月形を"拒否"したとか月形"抜き"とニュアンスの違う強烈な記事を書いた事だけが原因だろうか？

私の何かが足りなかったのだろうか？

自分自身で答えを見つけなければならない日がこれから続く。

「雪の少ない年は春が早いとは限らない」と云っていた故人の話を思い出す。

当別町長泉亭俊考

就任ごあいさつ

当別町助役 佐々木 保

(ささき たもつ)



このたび、4月1日付けで、北海道総合企画部参事から助役に就任いたしました。

法定期限があと1年と迫った町村合併問題や地方交付税、国庫補助金の大幅な削減による危機的状況にある財政の抜本的な立て直しなど、一刻の猶予も許されない重要課題も山積していますが、地方分権などによる変革の時代にあって常に俊敏に対応し、町行政の推進に努めて参りたいと考えています。

また、泉亭町長が目指す「環境に配慮した美しいまちづくりの推進」や「新しい農業政策の確立」など、微力ではありますがこれまでの経験を生かして、誠心誠意取り組む所存でございます。

皆さまのご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます、就任のごあいさつといたします。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

【経歴】

昭和26年10月生まれ・函館市出身

平成元年5月 日高支庁地方部振興課市町村係長

3年6月 北海道総務部税務課主査

5年4月 北海道企画振興部地域振興室地域調整課主査

6年11月 北海道企画振興部交通対策課総合交通係長

9年6月 北海道総合企画部地域振興室市町村課主幹

10年9月 石狩支庁地域政策部地域政策課長

12年4月 北海道総合企画部地域振興室市町村課主幹

15年6月 北海道総合企画部計画室主幹

16年3月 北海道総合企画部参事

退任にあたって

前助役 谷本 辰美



このたび、3月31日付けをもちまして助役を退任させていただくことになりました。

在任中の2年7カ月間、町長をはじめ議会の皆さま、町民の皆さまには本当に並々ならぬご指導とご支援、ご協力を頂き心から御礼申し上げます。

これからも当別町の益々の発展と、皆さまのご健勝を心から祈念申し上げます退任のごあいさつとさせていただきます。